

常磐新報

常磐論談

●鈴木町長に

苦言を呈す

▲鈴木君を述べた、鈴木君も叫びたい、濃厚篤實と
町長に苦言を呈する事は、云々言葉は現代では餘りに
は免れざるかも知れぬが、感服は出来ぬ、此亦無能の
假初めに、一町の長とし、代名詞であるからだ。

○多事である、多端である、町中に出来ぬ大小の突
ら、老翁を以て考ふる必要は、多事である、多端である
の老翁を以て考ふる必要は、多事である、多端である
ない、及びざるを助け、足その中でも、町當局が當然
らざるを捕ふ事は、吾輩の解決のセツに當るべき事體
任務と考ふるが故に、筆を、決して少なくない、此輩
呵して苦言を呈する所謂「件を如何に見て居るか、ア
ある。

◆本町現下の情勢は、舉ぐ考へて居る事は、過般の
町一齊に、既に實現と決定出来た一事件に徹して明瞭
したる、第二種重要港灣の「ヨク」して、足元から馬の
修築工事の着手によつて、ヨクして、足元から馬の飛
愈々多事多端を告げて来た「ヨク」して、足元から馬の飛
此多事にして、多端の、本事は除外に見方がソウ難
町長たる、鈴木君は其なからうか、町民の蒙る利
町政施行の仕様が、昔日と密關係は、事の大小に係ら
殆ど相違なき、施行振りは、座して終日時間空費に
如何に欲目で見ても感服が「ヨク」して、足元から馬の飛
出来ぬ、誰れしも目に觸る、寧ろ取るべき事件は勿
ゝだらう。

午前九時に當りて、午後事件でも、町民の爲めなら
の四時まで大い咳もせずば、それを解決せんとする
に、町長席に治まつて居る手段に出るが、現在の小名
事は、見ようによつては無償町を背負つて立つ、町長

の任務と信するのである、
老練にして、抜目のない、
鈴木町長之を以て、何と考
ふるか、敢て問はんと欲す
る次第である。

一記者

青年よ大志にもえよ

水野 忠 護

これではいけない、日本民族の
族はそれ程上つ調子な程ハ
原が出た同ホーよ、悪夢よ
原が出た同ホーよ、悪夢よ
原が出た同ホーよ、悪夢よ

磐城丸無電報

六月十一日午後二時十分香夜九時ロウ泊今朝四時
五十八里にトボン群の群に小名濱東徽南百六十三里水
五六十回合せ、七八百の短程十九度五分水色不良にて
二〇〇、二三貫目のトボン群ハ、ハネの小群を見たるも
二〇〇、附近は相當の餌に付かず、
群なるも何分餌付思ひの
釣れず、
今朝は位修正したる位置
十一月午後三時十分
其後三四回魚群に合せも
航走中なり、
航走中なり、
航走中なり、

今日の入梅入り

小磯側候所長は斯く語る
好晴の入梅入りは、式に型式になつて居るけれど、
氣持が好い、然し農家は水軽微であるだけに全國一般
量不足の爲め、入梅になつては初夏の氣候が現れ
たらと、待兼ねて居た。

●港灣費實際削減

本年度實際削減に對して、其成績を助役に問へば
福岡港初め、小名濱大分、何分無いソテは振れない、
土崎、宮古、尾の道、七尾、
浦戸、舞鶴の各港關係筋が
聯合陳言をなすべく上京し
情員は八日助役高木保氏が
上京した、而して總理を初
め大蔵省内務省土木ロウ灣
課内務省技監と各當事者を
歴訪チテ十日歸省し

磐城水産工業の重役會

六月十五日水工樓上に於て
磐城水産工業にては来る六工業は殆ど定期的収入も
月十五日午前十時重役會である爲め、配當の可能も十
招集し第四期決算に關する分あれど、時節如何なる
件其他を附議すると、方法に就てするか、某通
世を擧げて不況の折柄水産人は語つて居た、

對し聯合陳情

本年度實際削減に對して、其成績を助役に問へば
福岡港初め、小名濱大分、何分無いソテは振れない、
土崎、宮古、尾の道、七尾、
浦戸、舞鶴の各港關係筋が
聯合陳言をなすべく上京し
情員は八日助役高木保氏が
上京した、而して總理を初
め大蔵省内務省土木ロウ灣
課内務省技監と各當事者を
歴訪チテ十日歸省し

湯不動の湯

靈不動の湯
小名濱古港
婦人病は奇妙に治る
センキ 腰痛 神経痛
リウマチス
旅館も閉業

現代青年によびかくる 新しい日本の政治

況んや無産政黨が。オソレ併りと雖も、國體精神を明
 多くも日本皇室の眞性を識微にし、國民精神のオソレ
 らずして誤つて、資本主義に歴代内閣は、宣傳に教化
 擁護の源頭なりとなし、陰に多たなるギセイをはらは
 に、陽に、日本國體を呪つたりと云へども、事實は
 する如き淺薄なる觀念をヒ 益々相反して國體精神に反
 めつゝある事は、實に慨嘆 逆せる、諸思想國內に充イ
 に堪え得ざる處である。 ツしつゝ、あるを疑視する時
 併れども斯く國民の或る種 これ如何なる原因によれり
 のものをして誤解せしめた やを探究する必要を餘儀な
 原因を極むるならば、 くされるのである。
 第一、明治初年以來不用意 試みに諸子、現代政黨政治
 に、無方針に受け入れてき の實際が果して天皇中心の
 た一般の西洋思想がこの誤 政治に立脚せりや否や、
 解を促進せしめた一助縁で 國政諸般の設備が、果して
 あり、 日本國體精神と融合せりや
 第二、所謂、君主論とか、 否や、
 國體論とか、稱せらるゝ日 諸子、現代の日本の國相に
 本思想が餘りにも唯心的で 断じて日本國體の活現がな
 あつて、武士は喰はねど高 しい、
 揚子式主義に抱死して、 赫シキたる、建國精神の
 現實の社會生活そのものに 聖明は妖雲に包まれて、我
 實際に痛切な相即を持たな 等が生活に反映しないので
 かつた事も助縁とみられ、 ある、
 第三、貴族、富家、資本家 等が強つて、國體を資本主
 義制度と結合し、皇室の尊 名をかゝりて、己れ等の安タ
 イを計つた事がその本因で ある。
 かく三段論法を以てすると 明日、南東風 同
 き、明らかに國體精神の國 當地の氣壓七百六十ミリ二
 民生活に對する不徹底が、 斯る、我國未嘗有の國難
 をシヨ成せしめた原因であ

天気豫報
 今晚 北の風時々くもり
 明日 南東風 同
 當地の氣壓七百六十ミリ二
 昭和五年六月十二日
 小名濱測候所


和洋銅鐵、金物問屋
久 釜屋商店
 平町 五丁目
 電話九番 一三九番

イ 磐城水産工業株式會社
 社長 小野晋平
 總支配人 福尾伊太郎
 小名濱町
 〔電話六六一一〇番〕

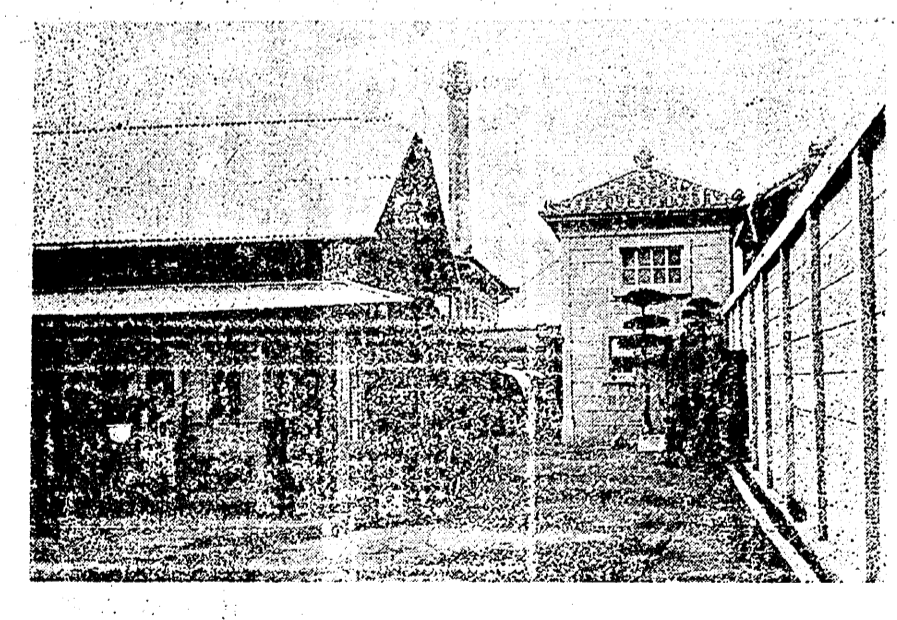
船具 機械油 附屬品 一般
小名濱水産株式會社
 〔電話四十三番〕

小名濱町
 内科 小兒科 婦人科
久保田醫院
 〔電話二十二番〕

中鐵式船用セミドリセル
 發動機製作
中之作鐵工所
 江名町中ノ作
 電話十九番 四一番

民衆的のらくら

 千鳥一やりび
 小名濱町中島通

理想的殺菌
全乳
 縣立回春園一手御用
 小名濱町
すまや牧場部
 〔電話一〇番〕



酌清世界 酒清水正宗 釀造元
吉清水屋本店
 小名濱町
 電話六番

植田町
磐城無盡商會
 主事 大平菊次郎